



Monthly Wacco

発行 ● 狛江市市民協働課
〒201-8585 狛江市和泉本町 1-1-5
☎ 3430-1111 FAX3430-6870
Email=wacco@city.komae.lg.jp

編集・制作 ● 特定非営利活動法人 k-press
〒201-0012 狛江市中和泉 3-2-16
プランツベルツ 201
☎ 3430-6617 FAX3430-6743
Email=wacco@k-press.net
Homepage=http://www.k-press.net/

2006
平成18年

11



多摩川の堤防上の道路



住宅地の中にいまでも多くの畑が残る

1 青山道

駒井町一、二丁目と三丁目の境を走る駒井大通りは、かつて青山道と呼ばれるメインストリートだった。江戸・東京から多摩川を越えて町田・相模原方面を結ぶ大山道のひとつで、渡し場が近くにある交通の要衝だった。駒井村は江戸時代は天領で、当時から

現在と同じ道幅があり「四間通り」と呼ばれ、狛江で最も広い道は人や荷物の往来でにぎわった。明治のころは多摩区登戸の丸山



昭和57（1982）年の住居表示により、駒井と宿河原を合わせてできた駒井町は、宅地化が進んでいるが、畑作を中心とした農業がいまも盛んな地域である。かつては多摩川でアユなどの魚を捕ったほか、狛江で最も広い道が通り、にぎわいをみせた時期もある。

泉龍寺の弁財天池を源にする清水川などの水を利用した稲作が行われ、市内で

最後まで水田が残っていた。戦前はモモやナシ、カキなどの果樹を栽培したこともあった。特産のカブや枝豆をはじめとした野菜の栽培など、多摩川が運んできた豊かな土を利用した農業が盛んに行われ、養蚕を行う家もあった。住民の共同意識が高く、戦争中には、人手不足を補うため農繁期に共同炊事なども行ったという。

め、お産や子どものこと、特に夜泣きに効くとして遠くか

2 圓住院

影向山圓住院（1-6-10）は天台宗比叡山延暦寺に属する寺で、本尊は聖観世音菩薩。寺の縁起によると、承久3（1221）年に現在の場所より西に開かれたと

伝えられ、その後無住の時代が続いたが、元和2（1616）年に現在の場所に再建されたといわれる。昭和12（1937）年に寺を引き継いだ先々代の今村昌賢住職が再興に努め、

らお参りに来る人もあったという。

本堂、庫裏、客殿などを新築した。また、今村まさるのペンネームで狛江音頭を作曲した。境内には享保9（1724）



圓枝神社（左）と圓住院本堂

年の庚申塔、天保4（1833）年の二十三夜塔などが残っている。南隣にあるイチヨウやケヤキの大木に囲まれた日枝神社（1-6-11）は駒井の鎮守として親しまれている。



図書館で新聞に目を通して切り抜く児童

3 狛江第六小学校

狛江第六小学校（1-21-1、中島敏校長、児童数476人）は、図書館利用の教育と近くの多摩川をフィールドにした学習が盛ん。

同校は図書館の利用に積極的に、国語の時間の読み聞かせ、社会では新聞を切り抜いてカードを作るなどの授業を図書館で行い、今年度の「わっこ」の地域特集も郷土資料として利用している。

教師、司書のほか、20年



猫のプレートが入った記念碑

消えた宿河原の地名 対岸の畑へ舟で通った

駒井3丁目の多摩川寄りの一帯は、住居表示が実施されるまで宿河原と呼ばれた。畑だけでなく菩提寺も神社も対岸の川崎市多摩区宿河原にあり、耕作のため持ち舟で通う家もあった。

神奈川県橋本郡稲田村大字宿河原の飛び地だったのが、明治45（1912）年に多摩川が都県境になり、多摩川左岸の宿河原の7戸54人



● 駒井町の地域データ ●

18年1月1日現在
面積 0.392km²（市域の6.78%）
（市内10番目）
世帯数 1,806（市内10番目）
人口 4,127人（市内9番目）
男2,125人、女2,002人
人口密度 18,909人（市内10番目）
●面積、世帯数、人口密度が下から2番目だが、世帯人口は西野川と並んで最多。

余りのPTAの読み聞かせ活動の実践が評価され、平成16年度に文部科学省から「読書活動優秀実践校」として表彰された。受賞記念として、ことし6月に地域住民が校門横に市内の版画家高野玲子さんがデザインしたプレート入りの石の記念碑が立てられた。

また、平成16～18年に文科省の「学校図書館資源共有ネットワーク推進事業」モデル校として研究した成果の

は狛江村大字宿河原に変わった。駒井の人たちは、この辺りを「大河原」と呼んでいた。松坂美さん（82）は、子どものころ、学校から帰ってくると他の兄弟と父がこぐ舟に乗って対岸の船島神社（多摩区宿河原2丁目）近くにあったクワ畑へ渡り、クワの葉の取り入れや下草刈りを毎日のように手伝ったという。

宿河原には多摩川で農業のかたわら漁業を営む家が2軒あり、1軒は昭和30年代に川魚料理の店を堤防沿いに関き、人気をよんだ。

発表会が11月24日午後1時35分～4時30分に開かれる。

当日は、六小児童が市内の図書館のネットワークを利用して、自分の学習課題を調べた成果を公開授業などで発表

4 供養塚児童公園

供養塚児童公園（3-3）は駒井町にある2カ所の公園のうちの一つ。子どもの遊び場だけでなく、フリーマーケットや近くの南部地域センターのイベントにも利用されている。

フリーマーケットは、市役所前広場で定期的に催されていたフリーマーケット「狛江のみの市」の実行委員が、平成7年に起きた阪神大震災の被災者救援を目的に地域の有志に呼びかけ、同年春に初めて開催。以後、毎年春



供養塚公園

するほか、昔話の語り会の「からむしの会」の語り、研究発表、文教大学講師蔵元和子さんの講評などがある。問い合わせは☎3480-9981六小。



多くの人でにぎわうフリマ

と秋に開かれている。被災者救援は2年続き、その後は地域福祉団体への支援に変わった。現在はNPO法人ハンディキャブこまえが主催、NPO法人えるぶも参加して本部テントでモチつき、焼きそば、飲み物などを販売、30～40店舗が出店して不要品販売を

行う。今回のフリマは11月5日午前10時～午後1時。

問い合わせは☎3480-5433NPO法人ハンディキャブこまえ。